

9月9日あがたの森講堂で行われた子どもとメディアを考える委員会の取材に行きましたので報告させていただきます。当日はメディア・ネットに関する講演会として講師に松本警察署生活安全第1課防犯指導係主任佐藤様をお招きして行われました。初めにネット社会の現状を説明いただきました。その中で印象に残ったのは、「携帯はすぐに連絡が取れる手段で持たせることがある。しかし、親は子どもとの連絡と考えるが子どもは友達と連絡を取る手段で考えている」などと大人と子どもの携帯への考え方にずれがあると言っていたことです。そこから、①お金に関するトラブル・相談②ネット上の悪口・いじめ③営業妨害などの問題をこの松本地域で起こった実際の事件を例に挙げてお話いただきました。私たちの身近でも事件が起こっていることに非常に驚きました。そして、講演の中で佐藤様からはいくつかの大切なお話を頂きました。私個人的な感想もありますが、いくつか紹介させていただきます。①できるだけ、携帯料金は親が払ってください。親が、お金を払うことで管理ができるようになります。そして、親はお金の心配よりも子どもたちの使用方法についてもっと心配をして話し合ってください。ネットのトラブルは子ども部屋で大半が起きています。子ども部屋にスマホは入れさせないようにしてください。②スマホは例えるなら包丁のような物・・・危ないからといって使わせないことは出来ない。使い方を間違えると人を傷つけ、自分も傷つけてしまう。正しい知識をもって使用すると便利なものになる。自分が他者からされたくないことは、相手にもしない事を意識してほしい。③もし子どもがネットで困ったら相談できる環境を作ってほしい。など非常に気づきを得ることができた講演会でした。一時間の講演会でしたが、ここでは書ききれないほどの内容の濃いお話で、機会があれば皆様もぜひ拝聴していただきたいと思いました。尚、本日の佐藤さまの出張講演希望がありましたら松本市PTA連合会までご連絡ください。